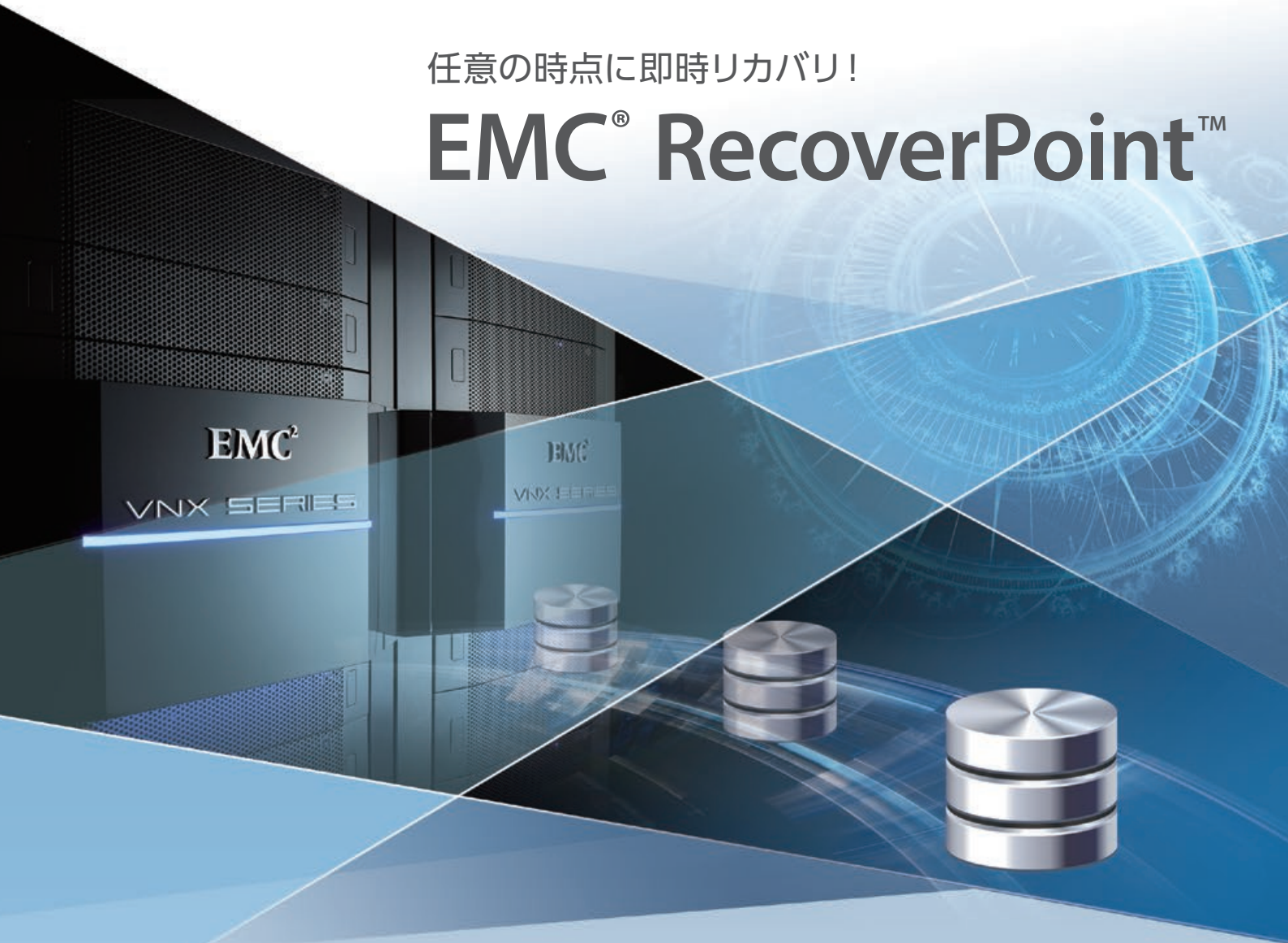


任意の時点に即時リカバリ!

# EMC® RecoverPoint™



限られた予算でも有用な災害対策を実現できるソリューションです



3種類のデータ保護方式を提供

CDP (Continuous Data Protection)  
CRR (Continuous Remote Replication)  
CLR (Concurrent Local and Remote)

## 課題

- 異機種ストレージ間のレプリケーションが難しく、必要経費が計画予算に合わない
- WAN回線のコスト負担が大きい
- EMC Symmetrix®ユーザーで災害対策の予定はあるが、予算が充分確保できない

## 解決

- 「ファブリスプリッター」にて異機種混在環境のレプリケーションを実現
- レプリケーションデータを圧縮・重複排除し、必要WAN回線帯域幅を最適化
- EMC VMAX®からEMC VNX™へのレプリケーションを実現

EMC Avamar®の重複排除技術を導入し、WAN使用帯域を1/5 ~ 1/10に削減します。

# 無制限のリカバリ・ポイントを提供する災害復旧ソリューション

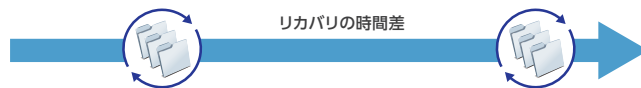
## 従来のバックアップ

- 決まった時間に取得される「夜間バックアップ」や「スナップショット」は、時間差によるデータ破損のデメリットがある

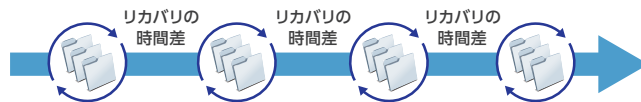
## 従来のレプリケーション

- ストレージレイのレプリケーションは、常に最新のデータがコピーされますが、論理破壊があればそのデータもコピーされてしまう
- コピーデータはクラッシュド・コンシステンシーとなる
- WANの場合、帯域が問題になることが多い

夜間バックアップ：24時間毎に1回のリカバリ



スケジュール設定されたスナップショット：3時間毎に1回のリカバリ



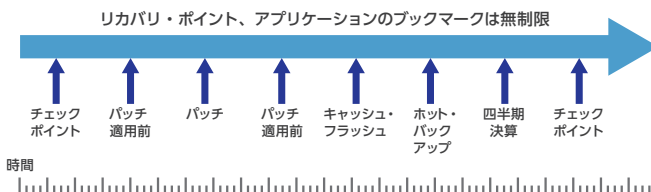
ローカル・アレイ間の同期ミラーリング：  
イメージをリカバリするが、論理的破損の可能性がある



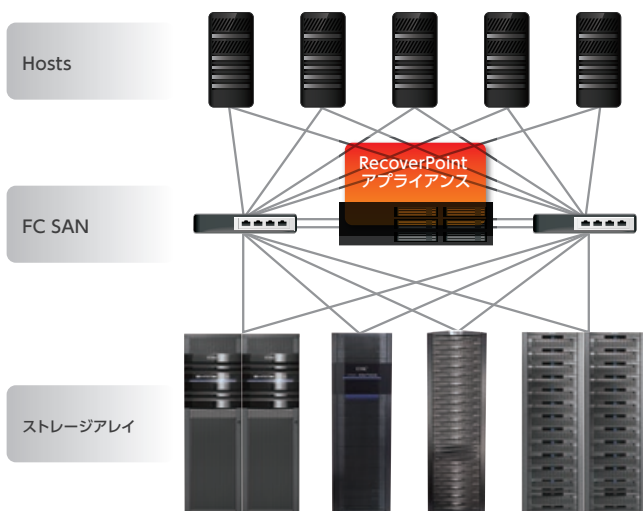
## RecoverPoint CDP テクノロジー

- 自由なリカバリ・ポイントを提供
- スナップショットとの連携により、アプリケーションベースのリカバリ・ポイントが提供可能
- 任意の時点へのリカバリが可能
- WANの使用帯域を大幅に削減(重複排除、データ圧縮転送)

RecoverPoint：任意の時点までの瞬時のリカバリ

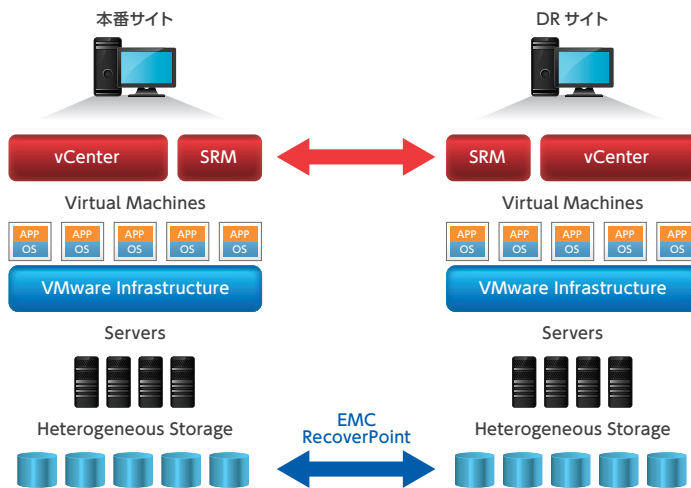


## RecoverPoint構成イメージ



- RecoverPointアプライアンスは冗長化
- 構成情報は外部(SANストレージ内)に保持

## VMware® vCenter™ Site Recovery Manager™ との連携



- DRフェイルオーバーのテストに、RecoverPoint レプリカ・イメージを利用
- 選択したVMあるいは全てのVMについてオンデマンドでフェイルオーバー
- VMware vCenter Server plug-in と組み合わせてフェイルバックも自動化



©Copyright 2013 EMC Corporation. All rights reserved.  
 ※EMC、EMC<sup>2</sup>、EMCロゴ、Avamar、RecoverPoint、Symmetrix、VMAXおよびVNXは、米国EMCコーポレーションの登録商標または商標です。これらの商標は、日本または諸外国で商標登録等により、適用法令で守られている場合があります。  
 ※その他の名称ならびに製品についての登録商標および商標は、それぞれの会社に帰属します。

お問い合わせ先

**nox** ノックス株式会社  
[www.nox.co.jp](http://www.nox.co.jp)

本 社 〒152-0023 東京都目黒区八雲2-23-13  
 Tel. 03-5731-5551 Fax. 03-5731-5552  
 西日本支社 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-8-17 大阪第一生命ビルディング15階  
 Tel. 06-6147-2395 Fax. 06-6147-2396

- 本製品に関するお問い合わせ：営業本部
- メールでのお問い合わせ：sales01@nox.co.jp